

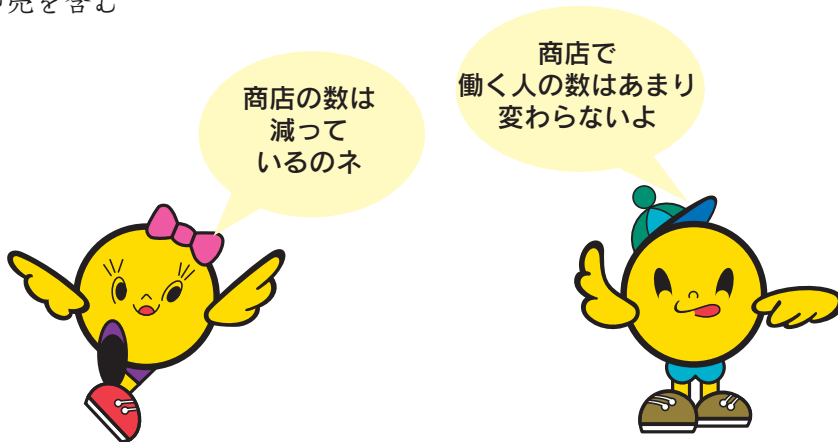
4 商業

福島県の商業は、人口が増え、生活が豊かになるにつれて年々さかんになりました。2004年(平成16年)の年間商品販売額は、約4兆7千億円で全国第21位となっています。

県内には、[※]商店が約2万8,600店あり、その数は1991年(平成3年)から年々少なくなってきました。

また、県全体で約17万2千人の人々が商店で働いています。

※卸売を含む



商店の中で最近増えているのが、大型小売店と呼ばれるスーパーマーケットやホームセンター、大型専門店などの大きな店です。これらの店の多くは街の中心部からはなれた大きな道路沿い^そにあり、何百台もの車がとめられる広い駐車場がある店もあります。



道路沿いには大型小売店が並んでいる（郡山市）

車を利用し家族で買い物ができる大型小売店が新しくできたこともあり、昔に比べて、街の中心部にある商店街に人が集まらなくなってきました。

このため中心部の商店街では、駐車場を整備したり、歩道をきれいにしたり、楽しいイベントを開いたりして、昔のにぎわいを取り戻そうといろいろな工夫をしています。

●商店街でのイベントのようす



いわき市本町通り



福島市駅前通り